

## 柔道ルネッサンススピーチ原稿

2006.6.3 全日本実業団団体対抗大会

中村 兼三



ただいまご紹介いただきました、全日本柔道連盟ジュニアコーチそして旭化成柔道部コーチの中村兼三です。

決勝戦前の貴重な時間をいただき柔道ルネッサンスについてスピーチさせていただきます。

現在、国際柔道連盟の加盟国は約 195 カ国となり世界各国で柔道が行われています。その中で、現在、全柔連に登録している日本の柔道人口は約 20 万人に対し、フランスでは約 50 万人といわれ、その 8 割が 18 才以下という報告があります。

柔道に通わせる親は礼や、しつけについて身に付ける事を期待し柔道を行うにあたり、友情、勇気、誠実、名誉、謙虚、尊敬、克己、礼儀、の心得を設けており、単に試合の勝負を競うだけのスポーツでなく道徳面、人間として大切な精神面を養う事の出来る価値あるスポーツとして評価され、こうした取り組みが柔道人口の底辺拡大につながっており、これは一昔前の日本とよく似ており、日本でも忘れかけている部分ではないでしょうか。

試合で優勝する事は大変難しく、ごく限られた人しか出来ませんが、勝つことを目指し心身を鍛え、その中で沢山のことを学び普段の生活に活かす事は皆に出来る事です。

この日本で生まれ、世界に誇れる柔道を指導者の先生方、選手の皆さん、柔道関係者の方々皆の力で柔道を今以上に魅力あるものにして行きましょう。

ご清聴ありがとうございました。